

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の  
早期事業化について（要望）

令和2年1月30日

瑞穂町  
瑞穂町議会

## 多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の

### 早期事業化について（要望）

大寒の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

瑞穂町では、殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導とともに、新青梅街道拡幅再整備事業に伴う沿道の都市計画の変更と地区計画の決定、さやま花多来里の郷をはじめとした観光施策の充実などにより、定住及び交流人口の増加を図っています。

さて、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸は、東京都を中心に検討の深度化が図られていましたが、令和元年12月に公表された「未来の東京」戦略ビジョンにおいて、多摩・島しょ振興戦略「多摩・島しょの交通ネットワークの強化」として強力に推進されることとされました。また、令和2年度東京都予算案においても、現況調査及び基本設計等費用として1億円が計上され、事業具体化の大きな一歩を踏み出させていただきました。

町も、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、多摩地域の発展に大きく寄与するものと確信しています。また、交通利便性が格段に向上することにより、新たな人の交流を生むとともに、環境負荷の低減にもつながります。町では、昨年度に東大和市、武蔵村山市と合同で「モノレール沿線まちづくり構想」を策定するなど、延伸に向けた準備を着々と進めています。今後は、更なる交通需要の増加につながる沿線の都市基

盤整備を進めるなど、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向けて共に取り組んでまいります。

このほか、町民の間では有志の会が発足し、平成31年4月、11,346筆の署名簿を提出した後も、継続して署名活動が実施されています。また、このたび、町内の全地区からの代表の参加を得て、町内全域における運動を展開するため、令和2年4月19日に「モノレールを呼ぼう 瑞穂の会」として正式発足することとなりました。東京都の予算計上についても、早くも喜びの声が多く寄せられており、町全域において、早期事業化への期待が高まっています。

このことから、早期事業化について、引き続き強力に推進されることを要望いたします。

令和2年1月30日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

瑞穂町議会

議 長 古 宮 郁 夫

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 下 野 義 子